

# 18歳選挙 始まる

## 若者の声を、未来に生かそう

7月10日（日）に行われる第24回参議院議員通常選挙から、選挙権の年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられ、市ではおよそ4600人、全国ではおよそ240万人の18歳・19歳の人が投票できるようになります。

18歳・19歳のみならず、そして20歳以上の人も投票に行きましょう。

図 選挙管理委員会事務局

第24回

投票日は

7月10日（日）午前7時～午後8時

参議院議員通常選挙

期日前投票  
など、くわしくは  
4ページを見てく  
ださい。



# 選挙権は当たり前のものじゃない！

選挙権は選挙権年齢に達した日本国民に平等に与えられていますが、日本国民に選挙権が与えられた当時は、女性に選挙権はありませんでした。また、年齢による制限がより厳しかったり、税金を納めている額による制限がありました（下の表のとおり）。

長い時間を経て選挙権が与えられる範囲が広がりました。

必ず投票しましょう。

日本の選挙権年齢の変遷

法律の公布	有権者の資格	全人口に占める有権者の割合
1889年 (明治22年)	直接国税15円以上を納める25歳以上の男子 男子 女子	約1%
1900年 (明治33年)	直接国税10円以上を納める25歳以上の男子	約2%
1919年 (大正8年)	直接国税3円以上を納める25歳以上の男子	約5%
1925年 (大正14年)	25歳以上の男子	約20%
1945年 (昭和20年)	20歳以上の男女	約50%
2015年 (平成27年)	18歳以上の男女	約80%

参考資料：「わかりやすい公職選挙法」



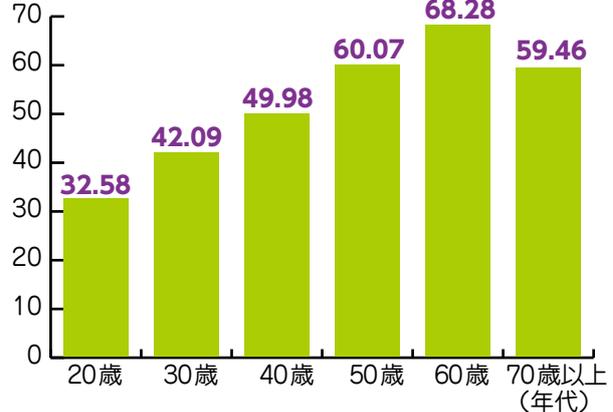
次のページで  
投票の仕方を  
紹介します

## なぜ、18歳以上に？

少子高齢化社会のなかで、日本の未来を担う10代に政治に参加してもらうため、より早く選挙権をもつことで、社会の担い手であるという意識を若いうちからもち、積極的に政治にかかわってほしいという思いから、選挙権年齢が「18歳以上に引き下げられました」。

若者の投票率が低くなると、若者に向けた政策が実現しにくくなったり、時間がかかる可能性があります。年代別の投票率をみると、若い世代ほど投票率が低く、若い世代の意見が政治に届きにくくなっています（下のグラフのとおり）。一人ひとりが自分自身の考えをもって政治に参加し、自分たちの声を政治に届けることが重要です。

平成26年衆議院議員総選挙における年代別投票率（%）



出典：総務省ホームページ

## 各国の選挙権年齢

平成26年の調査では、世界191の国・地域のうち、9割近くが日本の衆議院にあたる下院の選挙権年齢を「18歳以上」と定めています（下の表のとおり）。また、アルゼンチンなど選挙権年齢を「16歳以上」と定めている国もあります。

各国の選挙権年齢

25歳	アラブ首長国連邦
21歳	オマーン、マレーシア、シンガポールなど
20歳	カメルーンなど
19歳	韓国
18歳	アメリカ、イタリア、フランス、ロシアなど
17歳	東ティモールなど
16歳	アルゼンチン、オーストリア、ブラジルなど

出典：総務省ホームページ

HOW  
to  
Vote

# 投票に行こう

では、実際にどのように投票したらいいのでしょうか。

参議院議員通常選挙のとき



## 2 投票日当日、投票所入場整理券を持って投票所へ

投票所に入ったら、まず受付で入場整理券を渡します。そこで係員によって本人確認が行われ、投票用紙が渡されます。



## 1 投票所入場整理券が届く

「選挙人名簿」にしたがって郵送で各世帯に届きます。投票所入場整理券には、選挙の投票日や投票所の名称・所在地などが記載されています。

### 選挙の種類



選挙区

原則、都道府県の区域を単位に行われ、有権者は当選させたい候補者名を記載して投票します。各選挙区の当選人数に合わせて、得票数の最も多い候補者から順次当選者が決まります。



比例代表

全国を単位に行われ、有権者は当選させたい名簿登録者の名前または名簿届出政党等の名称もしくは略称を記載して投票します。政党の総獲得数に基づいて各政党の当選人数が決まり、得票数の最も多い候補者から順次当選者が決まります。



## 3 投票用紙に記入

投票記載台で、選挙区の投票用紙には候補者名を、比例代表の投票用紙には名簿登録者の名前または名簿届出政党等の名称もしくは略称を記載します(左の図のとおり)。



## 4 投票用紙を投函(とうかん)

記載した投票用紙を投票箱へ入れます。



※選挙区と比例代表で計2回行います。

出口

## 第24回 参議院議員通常選挙

### 投票日

- 日時 7月10日(日) 午前7時～午後8時
- 場所 各投票所

### 期日前投票

- 日時 6月23日～7月9日の午前8時30分～午後8時
- 場所 ①市役所本館1階ホール②市立保健福祉センター1階ホール

### 即日開票

- 日時 7月10日(日) 午後9時15分
- 場所 市立市民体育館大体育室

※開票速報は、市立市民体育館、市ホームページでお知らせします。

### 投票日に投票できないときは

投票日前に投票ができる「期日前投票」や、仕事や旅行などで地元にはいない人が滞在先で投票できるなどの「不在者投票」があります。くわしくは問い合わせてください。



# 高校・高専での取組

## 府立寝屋川高校

### 「18歳選挙権」で 模擬投票

選挙権年齢が18歳に引き下げられるのを受



投票演説の様子

け、5月30日、3年生33人が実際の投票箱で、模擬投票を体験しました。2ページ写真。

生徒らは、事前にグループごとに民主党の6政党を結成し、経済活性化策や投票率アップなどの政策をまとめました。経済活性化策は「流通性の高い1000円玉硬貨をつくる」「歩きたびし税を導入」など。投票率アップ策は「投票した人に景品を渡す」「駅など身近なところに投票所を設ける」「スマ

ホで投票できるようにする」——で、各党首の役の生徒がそれぞれの政策を主張しました。教諭から政策立案について、人権や課税の公平性に配慮するよう注意されたあと、生徒らは市選挙管理委員会が用意した投票箱と投票用紙を使って初めての投票を体験しました。

女子生徒は「せっかくの権利なので投票に行くつもり」、男子生徒は「授業をきっかけに、政治や選挙に興味をもった」と話していました。

## 府立大学工業高等専門学校

### 主権者意識を

6月1日、3年生約160人を対象に「18歳選挙権」の説明会を開き、主権者意識を高めるよう求めました。

教授がパワーポイントを使って選挙人名簿への登録などに

ついて説明。だれに投票するかについて、自分で考えることの大切さを指摘しました。

最後に「法律や学内外の規則、ルールを順守する範囲で学生が主権者として活動することを妨げない」とする府大高専の考

え方を紹介しました。学生らは熱心に説明を聞き、メモを取っていました。



講義の様子

## 高校生にアンケート

府立寝屋川高校の3年生33人に選挙についてのアンケートを実施しました。

### Q選挙についてのイメージを教えてください

- お年寄りが行く
- 堅苦くて難しそう
- 未来のためにできる大切なこと
- 私たちの社会の方針を決めるイベント

### Q18歳・19歳の人投票できるようになったことについて、どう思いますか

- 政治について考えるいい機会になると思う
- 20歳以上でもいいのではないか
- 自分の意思で投票できないのではないか
- 10代と20代以上では価値観も違うから、いろいろな意見が取り入れられる

### Qあなたの大切な1票はどのような政治家に投票したいですか

- 熱意があって、うそをつかない人
- 本当に実現できそうな公約を掲げている人
- 信頼できる人
- 国民の意見をしっかり聴いて、対応してくれる人

### Q「若い人たちが選挙に関心がない」などと言われますが、それについてどう思いますか

- ニュースを見ないからだと思う
- もっと政治について学び、政策を知って関心を高めるべき
- 若者向けの政策が少なく、高齢者向けの政策が多くなる
- 高校では政治分野が選択科目だから関わる人が少ない

みんなで選挙へ行きましょう

